

序

待望のEXPO'70も愈々開幕し、華やかなるべき1970年代に入りました。70年代には建築物の工業化が急速にすすむであろうといわれています。工業化をめぐって、建築構造の面でも、施工技術の面でも色々な変革が行なわれるでしょう。

また、これと同時に構造解析の面でも変革が伴うでしょう。それは、この方面では常に現実に即した方法が最も適した方法であるからです。そして形式にとらわれず、常に現実に即した方法を取りうるためには、常々形にあらわれるものの蔭にある真実を、しっかりと捉えている事が大切だと思います。

地震作用の捉え方、風の問題、量産型住宅の室内環境等、本報告に集められた事柄は今後ますます重要性をもって来るものと考えます。

1970年4月

清水建設研究所 所長

大 築 志 夫